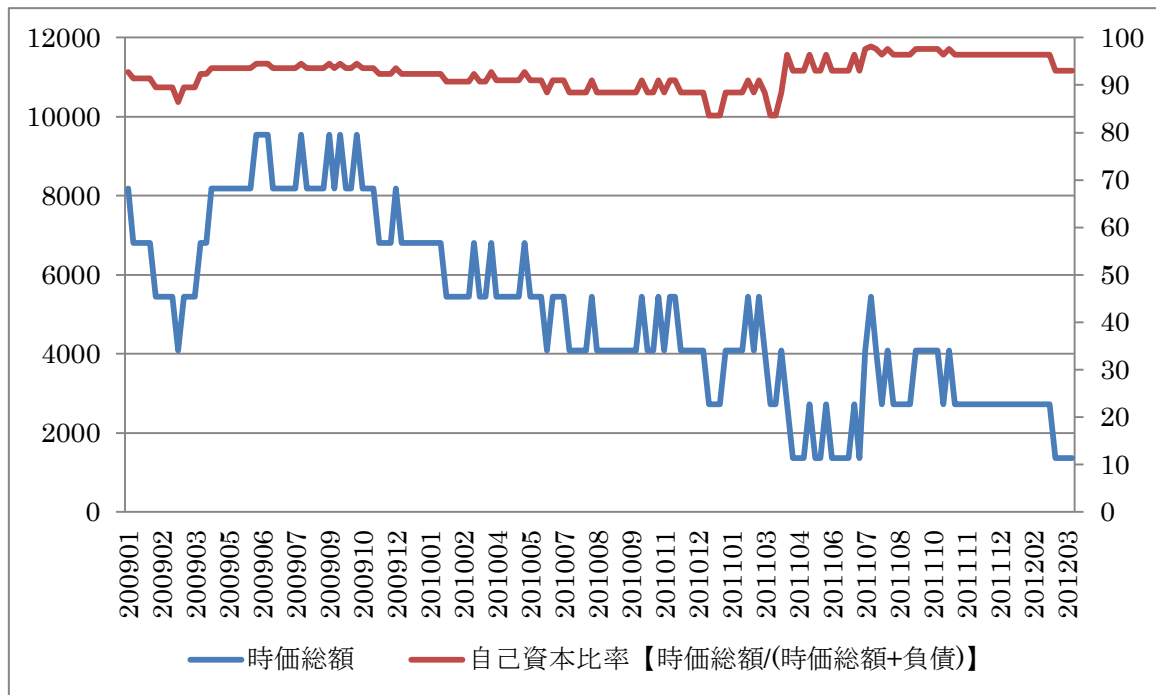


山水電気（株） 倒産日 2012年4月2日

[証券コード：6793 東証1部上場 日経36業種：電気機器業]



【左軸:時価総額（百万円）、右軸:自己資本比率（%）】

山水電気はアンプ製造・販売を行う企業であったが、2009年以降はアフターサービスと、グループ企業が保有する不動産の賃貸料で収入源を確保していた。同時期以降の株価を見ると、収益の大きな改善が見込まれないためか、大きな上昇はなかった。

2011年5月には再建支援先かつ筆頭株主でもあるザ・グランデ・ホールディングズ・リミテッドが倒産した。山水電気は筆頭株主に対する預け金があり、株主の倒産のために預け金の貸倒引当金として約50億円を2011年12月決算第2四半期に損失計上した(注1)。この損失が同社の資本額を上回り債務超過に陥ったこと、事業収入の見込みが立たないこと(注2)から、2011年4月2日に民事再生法を申請した。

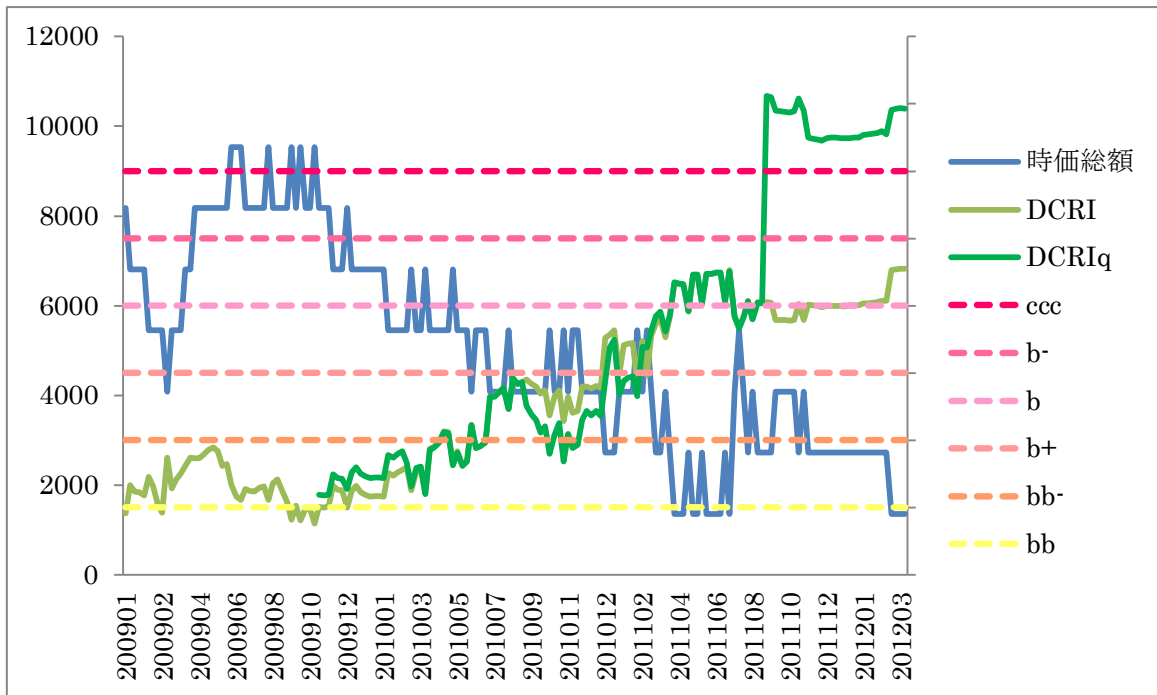
◆過去3カ年主要財務項目の推移

	2008年12月末	2009年12月末	2010年12月末
時価総額	6,815	6,815	2,826
負債	639	560	560
営業利益	-165	-141	-201
経常利益	-260	-139	-237
当期純利益	-639	-244	-677

(単位:百万円 金融工学研究所調べ)

注1:「山水電気株式会社 平成23年12月期 第2四半期決算短信」

注2:「山水電気株式会社 民事再生手続開始の申立てに関するお知らせ」



【左軸:時価総額（百万円）】

(DCRIq:四半期財務評価は2009年10月より評価開始)

上場企業に対し、株価の変動と財務指標で信用力（DCRI）を測定する弊社製品 DEFENSE では、当該企業は 2009 年初めの時点で bb 格であった。財務の悪化と株価の低下により徐々に評価を下げ、倒産直前時点において DEFENSE は b 格の評価をしていた。

なお四半期財務を用いた信用力(DCRIq)では、当該企業を評価開始時の 2009 年 10 月時点で bb 格の評価をしていた。倒産直前時点では直近の四半期決算の結果を踏まえ、ccc 格で評価していた。

◆倒産時点より遡った DEFENSE の主要項目

	104 週前	52 週前	26 週前	12 週前	4 週前
DCRI	11.214	13.532	13.787	14.004	14.072
DCR	bb	b+	b+	b	b
Status	Yellow-2	Red-1	Red-1	Red-2	Red-2
DCRI 業種平均	9.781	10.251	9.995	10.016	9.945
DCRI 業種中央値	9.548	10.089	9.921	9.972	9.829

DEFENSE の Status は 6 段階（※）で表現しており、その中で Red-1、Red-2 は相対的に信用力に問題のある企業に対するシグナルとなっている。

※Green-1、Green-2、Yellow-1、Yellow-2、Red-1、Red-2

「Default Event Study（デフォルトイベントスタディ）」のお問い合わせは、下記までご連絡をお願い致します。
株式会社 金融工学研究所 Tel 03-3276-3440 FAX 03-3276-3439 URL <http://www.ftri.co.jp/>

「デフォルトイベントスタディ」の著作権は㈱金融工学研究所に帰属し、その目的を問わず、情報の全部または一部を無断で引用または複製することを禁じます。「デフォルトイベントスタディ」は、信頼に足ると判断したデータ、情報を掲載していますが、㈱金融工学研究所は、その正確性、確実性、有用性を保証するものではありません。また、㈱金融工学研究所は、「デフォルトイベントスタディ」の直接的および間接的を問わず、その使用により結果として生じた損害、損失、紛争に関して、一切補償致しません。